

新むつ小川原株式会社 第2回経営諮問会議

議 事 次 第

日 時:平成14年5月24日(金)14時～15時

場 所:経団連会館 富士の間(8階)

1. 開会
2. 出席者紹介
3. 今井座長ご挨拶
4. 議事
 - (1) 13年度経営概況について
 - (2) 14年度事業見通しについて
 - (3) その他
5. 質疑及び応答
6. 閉会

(出席委員等名簿)

座 長	今 井 敬 (経済団体連合会会長)
座長代理	伊 藤 善 市 (東京女子大学名誉教授)
委 員	渡 邊 利 雄 (青森大学名誉教授)
	梅 内 敏 浩 (前青森県商工会議所連合会会長)
	大道寺小三郎 (青森経済同友会代表幹事)
	小 幡 政 人 (国土交通事務次官)
	(欠)木 村 守 男 (青森県知事)
	<代理出席>山 口 柁 義 (青森県副知事)
	小 村 武 (日本政策投資銀行総裁)

(経済団体連合会)	事務総長	和 田 龍 幸
(新むつ小川原株式会社)	代表取締役社長	永 松 惠 一
	取締役東京本部長	石 森 亮
	取締役青森本部長	佐々木権四郎
	常勤監査役	明 石 守 正

平成 14 年 5 月 24 日

第2回 経営諮問会議 報告

新むつ小川原株式会社
代表取締役社長 永松恵一

この度、第2回経営諮問会議が5月24日(金)午後2時から3時まで経団連会館8階富士の間で開催されました。その中では、平成13年度経営概況並びに14年度事業見通し等について当社から以下のとおり報告しました。

1. 平成13年度の分譲は約4.9haで742百万円の売上を計上できる見込みであり、賃貸収入等を加えた総収入は946百万円となる見込みであります。営業利益で約3百万円程度の黒字となる見込みであります。年初の目標を達成する売上高になり、概ね順調な事業内容となりました。
2. また、14年度については放射光施設・原燃関連企業への用地分譲や賃貸収入等で約850百万円程度の売上を目標にしたいと申し上げた。
3. なお、新会社としての実質的な対外的評価を得るためにも、前年度に引続き用地分譲に伴い株主還元を「減資」という形で実施する方針を申し上げた。

これに対して、経営諮問会議委員の方々から以下のとおり評価・助言を受けましたのでお知らせします。

1. 分譲・賃貸など順調な会社業績に対する会社ならびに関係者の努力に敬意を表したい。
2. 銀行の不良債権処理の問題から見ても、有償減資による株主還元は評価できるので、継続して欲しい。
3. 様々なプロジェクトが立ち上がり、一変した感想をもった。八戸新幹線までの新幹線開通を契機として、一層の交流が期待できるが、八戸からむつ小川原までのアクセス改善も重要だ。

4. 青森県が中心となって、むつ小川原工業地域にクリスタルバレイ構想、国際熱核融合実験炉(ITER)誘致、青森エコタウン構想が具体化してきており心強い。更なる発展に繋がる新計画の策定を期待する。
5. 放射光施設等を含め、希望の持てるプロジェクトの誘致を図って欲しい。また、資源・エネルギー・情報の強化が言われる中、それらの人々にとって、むつ小川原地域を魅力のあるところにする努力を期待する。
6. ITERについては、国内候補地として選択されるように、関係者一丸となって誘致に努めたい。
7. 新会社は今年度は順調に進んでいるようだが、民間企業としてはリスクも内包しているので、よく考えて経営に当たってもらいたい。

以上